



地域支援コラム

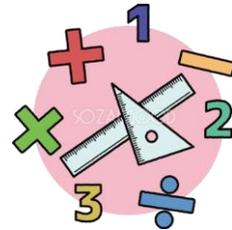
平野支援学校の教材を紹介します

手作り教材を使って算数を楽しく学ぶ

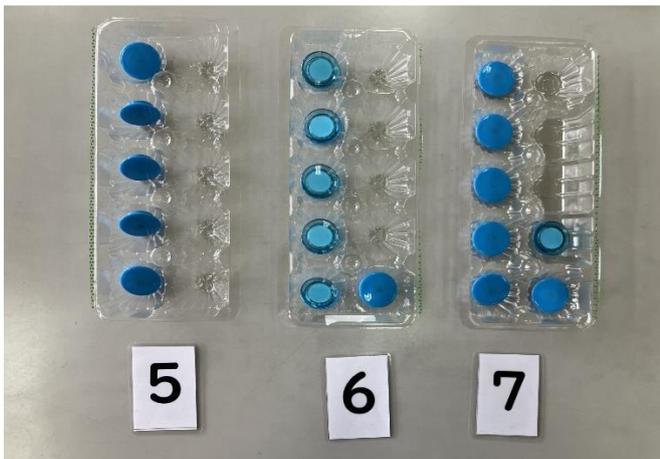
1、数のケース…5までの数を理解する



数唱、数字、量を一体的に理解するため、5までの仕切りのある手作りケースを使って学びます。繰り返し学ぶことで、5までの数を量としてとらえることができます。



2、卵パック…5 10の塊を理解する



5の塊、10の塊を理解するのに、役立ちます。

5の塊から、1個ずつ数（写真はマグネット）を足して、6以上の数を学びます。

あと何個で10になるか。数の分解を学ぶことにも、卵パックを活用できます

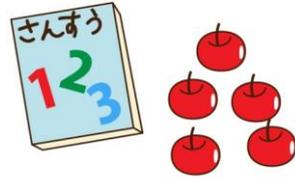


3、数を量としてとらえる…数量の理解



ケースの枠に貼られた数に対応する量を選び出します。数と量の対応関係を学ぶとともに、色の弁別や手指の活動にも役立ちます。

4、長さを学ぶ



学童期の前段階である幼児期の発達段階では、大小・多少・長短の理解から、大中小など中間項の認識にすすんでいきます。

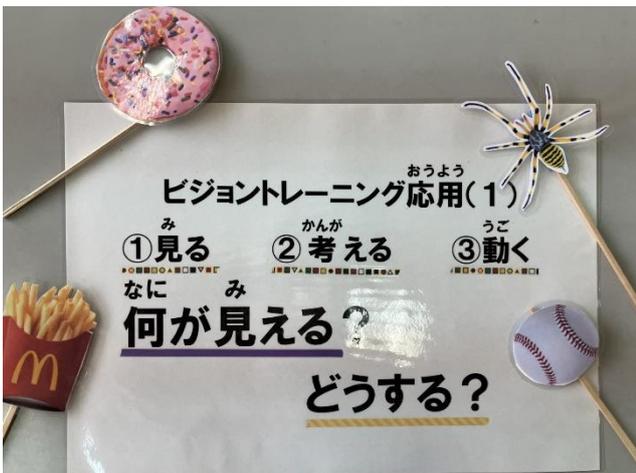
いろいろな鉛筆の長さを測ってみて、数量の違いを理解していきます。

5、「〇〇は右(左)から何番目？」



右と左、上と下などの方向に関する言葉や何番目、真ん中などの位置に関する言葉を、動物のキャラクターを使って楽しく学びます。

6、ビジョントレーニング



視機能を高めることで、書く力・読む力・作る力など、さまざまな力が身に付いてくると言われています。

対象物を右から左とその逆に、上から下とその逆に動かし、眼球運動だけで追います。

また、児童生徒の興味あるものを教材とし、「何が見える?」「どうする?」と問いかけて、遊びの要素も加えて、飽きないようにしています。

ただし、眼球運動に弱さがある児童生徒にとっては、疲れる活動になることは留意しておきたいものです。

教材等に関するご相談は、お気軽に平野支援学校のリーディングスタッフまで